

その他の質問事項  
 ・防災・減災について  
 (避難対策について)  
 (家具転倒防止取付工事助成  
 制度について)



佐藤 栄作 議員  
 (公明党)

○茂原駅前南口ロータリー  
 について

問 本市では、今年県内最高の37・3℃を記録する猛暑となった。駅前にある立体駐車場のビジョン茂原のニュースなどを流す電子掲示板を利用し、熱中症による注意喚起を文面で流してはどうか提案したが、その後の経過について伺う。

答 議員の提案を受け、8月12日から9月10日まで、ビジョン茂原を活用し、熱中症予防の注意喚起を行った。

○大登入口交差点から豊田  
 交差点間の道路について

問 住宅が隣接している約400mの区間において、大型車が

通過した際の揺れが問題視されていることから、路面調査を視野に入れ、今後どのように対処するのか伺う。

答 本市では昨年度に、市道1級及び2級路線について路面性状調査を行い、この結果に基づき来年度より国の社会資本整備総合交付金を活用して、順次修繕を実施していく予定である。

本路線については、1級路線であるため、既に調査を実施し、修繕対象路線にも含まれている。

なお、地元からの補修要望もあることから、できるだけ早期に修繕を実施したいと考えている。



その他の質問事項  
 ・農業振興(WCS用稲、ネギ栽培)について  
 ・生活環境(市民パス、詐欺)について

中山 和夫 議員  
 (緑風会)

○財政運営について

問 本市は、厳しい財政状況を

打開するため、財政健全化計画を策定し、その対応を図ってきた。しかし、実質収支は、ここ4年間連続して基準を超える黒字決算となった。そこで実質収支と市民サービスの考え方について伺う。

答 実質収支の適正な基準として明確な数値はないが、一つの目安として実質収支比率があり、その数値として3%から5%程度という考えもある。

なお、本市における平成25年度決算の実質収支比率は6.5%であり、県内37市中18番目である。

予算編成においては、できるだけ不用額が生じないように所要経費の積算を精査し、市民サービスの拡充に努めており、事業執行においては、所期の目的を達したものは不用額として残し、次年度以降の市民サービス等の財源に充てたいと考えている。

○中心市街地の活性化について

問 茂原駅前通り地区土地区画整理事業の長期化が懸念され、既存商店街の閉店が増加する中、商店街の活性化を図るためには、多くの課題はあ

るものの、商業街区の整備を早期に実施すべきと考えるが、見解を伺う。

答 商業街区については、既に一部で着手しているが、今後は個々の換地先の確保が難しいことから、ブロック移転を考えている。ブロック全体の関係権利者の合意形成、仮設店舗、移転先の土地建物の利用等、クリアしなければならぬ課題が多いため、現在策定中の事業推進方策に基づき、適正に対応して行きたい。



その他の質問事項  
 ・財政健全化条例の制定について  
 ・長生グリーンラインについて

前田 正志 議員  
 (もばら21)

○学童クラブについて

問 学童クラブの対象児童が小学6年生までに拡大されるが、必要な人材は確保できるか。保育所等を退職した職員の活用は。

また、保護者とのトラブルが発生した場合の責任の所在と解決方法について伺いたい。

答 学童クラブは、児童福祉法の改正に伴い対象児童が小学校6年生まで拡大されたことにより、利用する児童数の増加が見込まれるが、定員に達するまでの人材の確保は図れるものと考えている。なお、定員を超過するような児童数が生じた場合には、新たな施設を検討するとともに、更なる人材の確保に努めていく。また、有資格者の力を活用していくことは必要だと認識しており、今後、更なる保育士OBや教員OB等の活用にも努めていきたい。

また、公設学童クラブでのトラブルの対応は、市に責任があると考えており、今後は、指導員と保護者で解決に向けて充分な話し合いを持ち、場合によっては、市の担当者を含めて対応を協議していきたい。



○健康維持への報奨制度について

問 予防医療の推進や、健康維